

第12回評価センターFD・SDシンポジウム

開催期日 平成25年3月18日(月)
テーマ 内部質保証力を高める～問題の中心的課題に迫る～
内容等

- I. 講義(評価センター・副センター長)
- II. グループワークⅠ:ステップ1
- III. グループワークⅡ:ステップ2
- IV. 全体講評

評価センターでは、「内部質保証力を高める～問題の中心的課題に迫る～」をテーマとした第12回評価センターFD・SDシンポジウムを3月18日に開催しました。

今回は、従来の講演会等による意識啓発を目的とした形式のものから、PDCAサイクルを効果的に機能させるために、課題の発見とその解決方法を探ることを目的に企画しました。架空の大学における英語教育の問題を題材に、グループで付箋や模造紙、ホワイトボードを活用しながら、課題の発見や分析を行い、グループごとに発表していくワークショップ形式で進めました。参加者は、各部局で評価を担当している教職員、評価に関心を持つ教職員の他、学生も加わり、活発なグループワークが展開されました。

参加した教職員に対する終了後のアンケートでは、4段階評定の平均値が「今回の企画は興味深かった」が3.83、「今回の企画は役に立つ内容があった」が3.50という結果が得られ、また、自由記述には「課題分析の手法・手順を学ぶ機会になった」「日常業務の中で様々な問題解決に利用していきたい」などの感想がありました。さらに、続編を望む声も挙がるなど、本シンポジウムは盛況のうちに終了しました。



辻副センター長によるグループワークの説明



グループワークの様子①



グループワークの様子②



グループ毎の発表